

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

nurse cap ナースキャップ

教育だより
No.34

平成14年9月5日

8月
1・2日

あった!!

全員登頂

富士山頂上



基礎Ⅲ
リーダー研修



頂上まで
バイオトイレの水を
運びあげました

これから登ります
まだ元気です



チャレンジャーの富士登頂

基礎Ⅲ9名はリーダーシップ育成研修の一環として、国立中央青年の家主催のチャレンジ13776m富士登山に参加しました。各地から参加した若者と交流をもち、環境保全について考える事ができました。今回登頂を終えた4束の鈴木さんに感想を寄せて頂きました。

4 陸東病棟 鈴木恵美子

今回の研修で私達は、高校生から社会人で成る混合チームによる、グループ登山を行った。平均して20歳前後のメンバーと登ることに、体力的な不安を感じたが、出だしは、まずまずであった。

景色はほとんど眺められなかったが、照りつける日差しも弱く、時折吹く風が心地良かった。

六合目を過ぎて、風に寒って追ってくる霧にわずかな湿気が含まれており、シャワーを浴びているようで気持ちよかった。しかし、あたり一面霧におおわれ、遠くで鳴っていた雷が耳元で聞こえるようになり、雨が雹に変わると、そんな気持ちも一度に吹き飛んでしまった。雨にぬれ、冷えきった体で登るのは本当につらかった。しかし、全員登頂を果たし、貴重な経験を得ることができた。

研修あれこれ

基礎Ⅰ

3頁

深田 絵美

リフレッシュ研修を終えて

七月十八日、一年目ナースを対象にリフレッシュ研修が行われ、四月の研修以来、三ヶ月ぶりに集合しました。

今回の研修では、「リフレッシュしよう」「仲間を知ろう」を目標にバレーボール大会が行われました。日頃、業務の忙しさに追われ、なかなかリフレッシュできずにいる中で、



7月18日 B&G 体育館

今回私は、日かくし体験をすることで、様々な事を感じ、学ぶことができました。日かくしをし、パートナーと話せない状態での行動は感覚のみになるため、こんなに怖いものなのかと改めて思い、予想以上でした。私はこの体験を通して、非言語的コミュニケーションの大きな役割を感じました。日常の看護場面で話すという行為にたよりすぎていたのかなと思います。今後コミュニケーションを取るときは、患者様に伝わっているか観察する事、また言葉

基礎Ⅱ

腎センター

杉山 尚子

コミュニケーションの大切さについて学んだこと

仲間と共に体を動かす、汗をかき、リフレッシュすることができました。また、この四ヶ月間の仕事の様子や各病棟の状況など、仲間との会話の中で、情報交換やお互いの様々な思いを表現できる機会ともなりました。同僚の友との仲も深められ、今後仲間同士、支え合いながら前に進んで行きたいと思っています。

看護記録

2頁

青木 春美

のみならず自分の態度はどうなのか、常に振り返る事。そして、何より患者様の反応、その言葉は何を意味しているのかを感じとれる看護師を目指しがんばっていききたいです。

看護記録の研修会は、一、情報開示を求められた時に対応できる記録



H14年5月11日

東京女子医科大学
佐藤紀子教授

フィジカルアセスメントを学ぶ

東京女子医科大学
講師 野副美樹氏

を学ぶ、二、患者様の情報は患者様のものという意識がもてる、がねらいです。今年度はワンステップとして、看護記録は患者様のものということがわかる。です。情報開示って何？から私の書く記録は患者様に見えることができるかがキーワードです。記録って、見ること読むことで変わると思いませんか。

5頁 永野 芳江

フィジカルとは身体。フィジカルアセスメントとは身体の診断の事です。ヘルスケア領域で求められる看護者の役割は年々大きく変化していきます。個別的な看護を展開する上でアセスメントは大切なものです。その為にフィジカルアセスメント技術を学び、臨床の場で科学的根拠に基づいたアセスメントが行え、いい看護が提供できるようにと、がんばります。

近頃の私



東京福祉大学
認定心理士を目指して……

5西 青島 美保

私は今、看護師と学生という二足のわらじを履いています。もともと心理学に興味があり、約二年前、通信大学で心理学が学べることを知りました。社会福祉学部ですの、福祉に関する科目も多数あります。テキストを読み、講義を受け、試験に合格すれば、単位がとれるという仕組みです。

心理学に関する講義は、毎回難しく苦勞しますが、いろいろな方々と会話ができた交流があるので、とても刺激になります。実際に心理テストを受けたり、カウンセリングの場面を設定し、話し手、受け手、傍観者の3人に分かれ3分間、カウンセリングを行います。話し手が話しやすかったか、



受け手の態度はどうであったかなど話し合う講義もありました。また、個人空間の選定（人がどのくらい接近したら不快に思うか）を正面、左右、後ろから実際に生徒同士で行いデータを集め考察を行ったこともありました。学生と比べても、二十代から六十代ぐらいまで幅広く様々な職業の方が集まるので、とても新鮮で年令を問わず友達ができ、私にとってプラスになっています。卒業できれば、認定心理士という資格が取得できますが、卒業までの道のりはまだ困難を要します。自分自身との闘いです。自分に負けない様、楽しみながら学習できればと思っています。

トピックス

中国



国際的見識を広げます

静岡県看護協会主催
中国湖北省
考察団として
10月17日～11日間
小島 満美さん (3W)

ユージン第25次
訪問団として
8月21日～9日間
棟葉 澄さん (2W)
藤原 辰子さん (5E)
松浦美代子さん (2E)



医療施設訪問してきます

臨床指導者講習会出席者は6名です

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 酒井 広美 (2西) | 棟葉 裕子 (4東) | 落合 和代 (3西) |
| 角皆 映子 (5東) | 丸尾 陽子 (3東) | 田中 園恵 (5西) |

私の参加した研修

4東 鈴木 智子

褥瘡セミナーに参加して

先日、褥瘡セミナーに参加させていただきました。今年度から褥瘡防止体制が不備とわかった医療機関の診療報酬が減点されることになりました。そのためシンポジウムではフロアからたくさんの方の質問や意見が出されました。

褥瘡ケアには各種薬剤やドレッシング剤が使用されますが、まずはスキンケアが一番大切とのことでした。褥瘡だけを洗うのではなく周囲の皮膚を広範囲に洗浄。炎症所見がなければシャワー浴を行っても良い。また普段私たちはガーゼを使用することが多いと思いますが、ガーゼによる組織の損傷や浸出液がしみ出たり、逆に排泄物による汚染があったりと併発が多いこともわかりました。ガーゼでは毎日一回以上は交換が必要ですが、ドレッシング剤によっては数日間貼用したまま経過を観察するだけというものもあります。患者様の負担を最小限にし、コスト的にも良い方法を選択する必要があります。と思いました。

褥瘡のある患者様の場合、退院されてからのケアも必要となります。家庭と病院、訪問看護部門等が連携して情報交換をしていくことが今後の課題になるのではないのでしょうか。



編集後記

今年度からナースキャップ委員となりました。読ませていただいた時は知りませんでした。先輩に教えてもらいながらがんばりますので、皆様の情報提供もお願いします。

3西 松下

ヘルパー 只今 取り組み中

大きな実りがありますように!!

ヘルパー目標

5東

患者さんが
心安らく工夫

5西

手術時の
必要物品の
準備

4西

足浴介助
コミュニケーションの向上

3西

整理整頓
在庫数確認

外務

受付のプロを
目指すぞ!

4東

足浴と
足浴後の
ケア

3東

子供達に楽しく
生活習慣指導

2西

整理整頓
ナースステーション
眼科処置室

賢センター

温タオルの
作成

手術室

中材業務の
整理整頓

2東

病棟内の
整理整頓

人間ドック

健診システム
人間ドックスタート
がんばるぞ!